

平成9年度第5回日本生物物理学会運営委員会議事録

日時：1997年10月10日（金）12：30～14：30

場所：京都大学、人間・環境学研究科棟233号室

出席者：宝谷会長、松本次期会長、石渡、郷（通）両副会長、新田北海道支部長、美宅編集実行委員長、太和田10年度年会委員長、青木、赤坂、垣谷、桂、木島、木下、桐野、郷（信）、月原、豊島、永山、三木、安永 各委員

報告事項：

1. 平成9年度予稿集について（宝谷）

資料：報1

第35回年会予稿集に一部乱丁があった件の報告。会誌 No.213 に訂正文が添付された。

2. 平成10年度年会準備状況（太和田）

資料：報2

年会開催案内文案（会誌12月号に掲載予定）、開催準備状況、他学会の10年度年会開催日程（平成10年10月2～4日）が報告された。一般講演がすべて口頭発表となることやシンポジウム数を減らす方針について、運営委員会の既定路線と異なること、また継続性の観点から遺憾とする意見が多く出されたが、会場などの現実的な理由より今回は仕方がない、また方式のバリエーションがあってもいいのではという意見も出された。開催方式の一般会員による評価が必要との意見も出された。

3. 平成11年度年会開催予定について（松本）

資料：報3

市川11年度年会実行委員長により立案された企画案の報告。11年10月12～14の3日間、理化学研究所で開催予定。

4. 科研費審査委員候補者選挙について（木島）

資料：報4

美宅成樹、郷信広、月原富武、木下一彦、若林建之、加茂直樹、永山国昭、吉田賢右の各氏と、継続の石渡信一、宝谷紘一両氏を合わせて学術会議に推薦した。会誌 No.213 の公告を参照のこと。

5. 生物物理若手の会夏の学校の報告（宝谷）

資料：報5

若手の会会長の小嶋誠司氏より、夏の学校の開催報告とその会計報告があった旨報告

された。10・11年度委員に若手からの候補がはいっていないことに関して、票が分散するため次回からは候補を絞った方がよいとの意見があった。

6. 非会員の年会での発表（登壇）（石渡） アンケート

かねてより議論のあった非会員による年会発表（登壇）について、年会参加者にアンケートを配布した。集計結果をもとにさらに運営委員会で議論する。

7. 予稿提出期限について（石渡）

内容の充実のために年会予稿の提出期限を従来より1ヶ月遅らせる件について、電子技術上の問題も含めてさらに議論する。

8. 賞選考委員会報告（郷信） 資料：報8

9年1月～10月までに各賞・助成に対して学会が推薦した候補者のリストが提出された。

議題：

1. 学会事務局について（宝谷）

会長の交代に伴い事務局も会長の所属機関に移転するのが慣例であったが、引継にかかる労力・コストの軽減、ノウハウの蓄積・有効利用のため、しばらく（2年程度）の間現在の事務局（名大）と会長秘書（永田素子さん）を継続してはどうかとの意見が出された。新運営委員会の審議事項として議論することとなった。

2. 平成9年度中間決算報告の承認（桐野） 資料：議2

9年1月1日～8月31日までの収支中間決算が報告され承認された。

3. 平成10年度予算案の承認（桐野） 資料：議3

上記予算案が承認された。

4. 次期監事の候補者について（宝谷）

10・11年度の監事候補者として、葛西道生氏が提案され了承された。

5. 賞・助成学会選考について（郷信）

資料：議5

従来の賞・助成金推薦委員会は比較的少数の長老の方々に構成されており、第一線の現状や非主流分野の動向が反映されにくいのではないかとの理由から、以下の改革案が提案された。委員長は会長、委員には運営委員があたり、若干の委員会顧問を置く。賞・助成情報をもとに、決定は運営委員会によって行う。

改革案を採択するかどうかは新運営委員会で議論することとなった。